

表紙「よっかいちのいいところ」

鳥出神社の鯨船行事(富田)

詳しくは、裏表紙をご覧ください。

スマホをかざそう!【今月の動画】

- ・鳥出神社の鯨船行事
- ・どんど焼き

見方は、13ページの「広報紙で動画をみよう」をご覧ください。



特集

新市長を迎え、
市制120周年の四日市市がスタート

新市長を迎え、 市制120周年の四日市市がスタート

明治30年に全国で45番目の市として誕生し、今年、市制施行120年を迎える四日市市。

昨年12月に就任し、この節目の年に市政のかじ取りを本格的にスタートさせる森智広新市長に抱負を語ってもらうとともに、120年の歩みを振り返り、四日市の今と未来に思いをはせます。



森智広市長プロフィール

年齢：38歳(昭和53年生まれ)

学歴：西陵中学校/四日市南高等学校卒業

立命館大学理工学部卒業

早稲田大学大学院公共経営研究科修了

職歴：公認会計士、税理士

四日市市議会議員(2期)

元気なまち四日市へ

このたび、四日市市長選挙にて市民の皆さんのご負託を賜り、第十七代の市長に就任させていただくことになりました。

6年前、私は生まれ育った四日市のために残りの人生を費やしたいと決心し、東京から地元四日市に戻ってきました。それから5年半、市議会議員として市政に関わるほどに、四日市の魅力やまちとしての可能性を感じました。

今、本市は人口減少という大きな問題に直面しています。まちの魅力が失われつつあり、人が離れていく現状に、私は大きな危機感を抱いています。四日市が20年後、30年後も元気で活力のあるまちであり続けるためには、今、市政をダイナミックに変革する必要があると強く感じています。

そのために、私は「経営力、組織の向上」を進めていきたいと思えます。民間の考えを徹底的に取り入れた新しい価値観で攻めの自治体経営を実行していくことで、必ず四日市は変わります。市民が誇りを持てるまちをつくりあげていくため、これから全力で取り組んでいきます。



伊勢湾の日の出

ちゃんねる
連動



今回の特集の内容は、
市政情報等提供番組
「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します

- 地デジ12ch(CTY)
- 1月1日(祝)～10日(火)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

私がこれから実現したいこと

産業振興

水素エネルギーなどの次世代エネルギーを活用した世界最先端のスマートタウン構想を推進します。

民間でできることは民間に。地元企業でできることは地元企業に。入札制度改革や中小企業への支援の拡大などを通し、企業の育成や競争力強化につなげます。

子育て・教育支援

四日市の人口減少に歯止めをかけ、子育て世代に選ばれるまちに向けた政策を実行します。

子ども医療費窓口負担ゼロ、中学校給食の導入、待機児童の完全解消などを進めていきたいと思います。

福祉・医療の充実

在宅介護体制の充実や障害者雇用率の向上などの施策を通し、高齢者も障害のある人も誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。また、市立四日市病院を中心とした地域の救急体制の充実を図ります。

市役所改革

公認会計士の経験を生かし、民間経営の考え方を取り入れた新たな価値観での自治体経営を目指します。新たな公会計システムの導入により精緻な経営分析を可能にし、市役所の組織力強化につなげます。

120年の歩みを振り返る

1897
明治

- 1897(明治30)年 8月1日
全国で45番目の市として市制施行
- 1899(明治32)年 5月
関西鉄道の名古屋・湊町(大阪)間が全通
- 1899(明治32)年 8月
四日市港が開港場に指定される



明治末期の
四日市港

1912
大正

- 1914(大正3)年 6月
三重紡績と大阪紡績が合併し、東洋紡績設立。本社を四日市に置く
- 1922(大正11)年 3月
伊勢鉄道新四日市駅(現在のJR四日市駅)開業(写真)



1926
昭和

- 1930(昭和5)年 1月
海蔵、塩浜の両村と合併。以降、昭和16年(5町村)、昭和18年(2村)、昭和29年(10村)の合併を経て、昭和32年の合併(2村など)で楠町を除く現在の市域まで拡大



昭和6年に竣工
した市の庁舎
(浜町)

- 1936(昭和11)年 3月
新港完成を祝う「国産振興大博覧会」開催



博覧会会場(千歳町)の配置図

古来から続く人の営み

本市の歴史は古く、市内各地には旧石器時代の土器や弥生時代の集落跡、そして奈良時代の地方の役所跡と見られる久留倍官衙遺跡など、さまざまな時代を通して人の営みを伝える遺物、史跡が数多く見つかっています。

地域の交通・物流の要地であったことから、室町時代には定期市が開かれるようになり、これが「四日市」の名の由来といわれています。そして、江戸時代には東海道五十三次の43番目の宿場町となり、参勤交代や伊勢参宮など、人・物の往来がますます活発化しました。また、海上交通においても天然の良港を拠点に多くの回船が行き交い、陸海の交通要地の商業のまちとして大いに繁栄しました。

こうして歴史をたどると、古くから先人たちがこの地につくってきたにぎわいが、今の四日市市のルーツにあることに気付かされます。



室町時代の定期市の様子(博物館常設展の展示)

商業のまちから工業都市へ

市制が施行された120年前、日本は近代国家へと歩み出していました。その縮図のごとく、四日市ではさまざまな近代産業が興り、発展を遂げます。この礎となったのは四日市港の存在でした。

明治6年から17年にかけて、稲葉三右衛門さんえもんが私財を投じて行った修築事業を契機に、四日市港は、国際貿易港へと発展していきます。明治32年に伊勢湾で最初の開港場に指定されると、紡績をはじめ、製糸、漁網、製陶など、さまざまな産業の輸出拠点となっていきました。

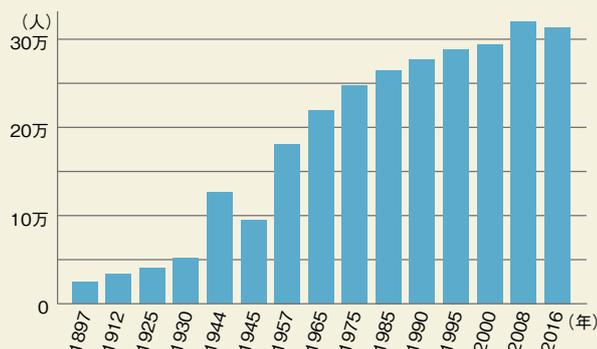
一方で、明治32年には関西鉄道(現在の関西本線)の名古屋・大阪間が全通します。こうして陸海の交通に恵まれた四日市は、商業のまちから工業都市へと変遷していくことになります。

進むまちづくりと市域の拡大

市制施行以来、四日市港はさらなる整備が進められ、綿花の輸入港としてもにぎわいを見せていきました。また、明

治末期から昭和初期にかけて道路や河川の整備、大規模な土木事業が行われ、市街地の開発も進みます。こうした市勢の進展に対応し、昭和5年から32年にかけて、段階的に町村合併を繰り返して市域を拡大していきました。

人口の変遷 市制施行当時約2万5千人だった人口は、町村合併を経て順調に増加。1944(昭和19)年には12万7千人近くになりますが、戦災で1945(昭和20)年には25%近く減少し、10万人を割り込みます。戦後は高度経済成長とさらなる合併を経て急激に増加。2008(平成20)年にピーク(約31万5千人)を迎え、その後は微減傾向で今日(約31万2千人)に至ります。



環境先進都市、そして21世紀の産業都市モデルへ

戦後、臨海部に形成された石油化学コンビナートは、高度経済成長を遂げた日本経済の象徴であり、本市に飛躍的な発展をもたらしました。しかしその反面、環境への十分な配慮を欠き、大気汚染や水質汚濁などの大きな公害をもたらすことになりました。

公害の解決に向け、全国初の硫黄酸化物の総量規制など、行政と企業のパートナーシップによる先駆的な取り組みが行われました。さらに、昭和42年から平成22年にかけて、企業による環境設備への投資やインフラの整備など、官・民あわせて約9,800億円の巨費を投じての環境改善が着実に進められてきました。

そして、産業においては、内陸部の半導体製造企業の立地をはじめ、臨海部における高付加価値製品への転換や研究開発機能の集積などにより、近年は、地域全体が時代の最先端を行く高度部材供給拠点となっています。



1945 昭和

- 1945(昭和20)年 6月
空襲で市街地が焦土となる
- 1952(昭和27)年 2月
四日市港が特定重要港湾に指定される
- 1955(昭和30)年 8月
四日市高校が全国高等学校野球選手権大会で優勝



大会で優勝

諏訪新道での優勝パレード

- 1959(昭和34)年 9月
伊勢湾台風襲来
- 1963(昭和38)年 10月
ロングビーチ市と姉妹都市提携を締結
- 1968(昭和43)年 10月
四日市港とシドニー港が姉妹港提携を締結
- 1972(昭和47)年 7月
四日市公害裁判で原告側全面勝訴の判決
- 1975(昭和50)年 9月
三重国体が市内で開催される



夏季大会の開会式
(中央緑地水泳球技場)

- 1980(昭和55)年 10月
天津市と友好都市提携を締結

1989 平成

- 1992(平成4)年 4月
平成4年4月4日を記念して「オープンバザール四日市」を開催(現在の「エキサイト四日市・バザール」)
- 1997(平成9)年 8月
市制施行100周年に合わせて四日市ドームがオープン(写真)。記念式典を開催



- 2005(平成17)年 2月
楠町と合併。人口が30万人を超える
- 2008(平成20)年 4月
保健所政令市へ移行。市制施行111周年を記念しての事業が年間を通じて行われる
- 2015(平成27)年 3月
四日市公害と環境未来館がオープン



市制施行120年キャッチコピー

120年の絆、

四日市の今、そして未来

本市の将来に向けた発展を考えたとき、まずは最大の強みである多様な産業の集積と、そのさらなる進展が大きな鍵となることでしょう。

一方で、本市には、歴史の中で育まれてきた萬古焼やかぶせ茶などの地場産品、「大入道山車」や昨年ユネスコ無形文化遺産に登録された「鳥出神社の鯨船行事」などの文化財・伝統行事、さらに最近では工場夜景や四日市とんてきなど、豊かな地域資源があります。また、中心市街地のにぎわいは、商業のまちとしても発展してきた本市の「顔」と言えます。

そして、「博物館」「プラネタリウム」「四日市公舎と環境未来館」が一体となった「そらんぼ四日市」は、未来志向で四日市を広く発信する拠点であり、四日市を象徴する施設です。

全国的に少子高齢化・人口減少が進む中、これから先、本市が「選ばれるまち」になるためには、市外の人に向けて本市をPRするための情報発信が不可欠です。そのためには、まず私たち市民一人ひとりが本市の特色や良さを改めて認識し、郷土に愛着と誇りを持つことが第一歩になるのではないのでしょうか。



四日市JCT(提供:中日本高速道路(株))





まちかどで出会った
 “四日市LOVE♡”
 な皆さん

これからもずっと この街で — 四日市。

120周年を祝い、盛り上げる

市では、今年、市制施行120周年を祝う記念事業を予定しています。記念事業を企画し、盛り上げていくため、「四日市市制施行120周年記念事業企画委員会」（以下「企画委員会」）を設置しました。多くの人の心に残る120周年にできるよう、今後、企画委員会で議論を重ねていきます。



編集後記

豊かな自然と歴史、文化、そして産業。さまざまな顔があり、一言で言い尽くせない魅力にあふれる四日市。市内で暮らす人はもちろん、通勤する人も通学する人も含め、この節目の年に四日市にいる皆さんが、今回の特集を通してこのまちのことを改めて知り、考え、好きになってもらうきっかけになればと思います。（政策推進課 位田、広報広聴課 木塚）



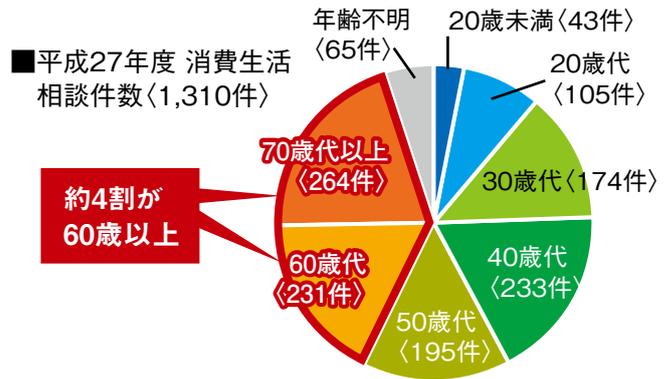
企画委員会 委員長
 小林慶太郎さん
 （四日市大学 教学部長）
 （総合政策学部教授）

市制120周年を迎えるに当たり、記念イベントなどでお祝いすることはもちろんですが、一過性のもので終わらないことが重要かと思います。市制111周年の際にもさまざまな記念行事が行われ、それがきっかけで今まで続いている催しなどもあります。今回の120周年でもこの先の四日市へつながるものが残るよう、今後、市民、企業、行政が一丸となって盛り上げていければと思います。

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は **政策推進課 ☎354-8112 FAX 354-3974**
広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974

見守りで 周囲の 高齢者の 消費者トラブルを防ぐ！

近年、高齢者の消費者トラブルが増えています。本市でも、市民・消費生活相談室に寄せられる相談のうち、約4割は60歳以上の人からのものです。高齢者が消費者トラブルに巻き込まれないようにするためには、周囲の人たちによる見守りが必要です。



高齢者に多い消費者トラブルの例

点検商法

「無料で屋根を点検する」と言って訪問し、「このままでは危ない」「すぐに工事しないと大変なことになる」と脅して必要のない契約を結ばせる。



利殖商法

高齢者の老後の資金への不安に付け込み、「必ずもうかる」「後から高値で買い取る」と言って「未公開株」「社債」などの金融商品の購入を勧誘する。



催眠商法

日用品の無料配布や健康器具の無料体験などで人を集め、言葉巧みに高額な布団などの商品を買わせる。



被害に遭う背景

高齢者は、インターネットを使わない人も多く、情報が不足しがちです。このため、消費者トラブルに遭ったときに、以下のような状況に陥る傾向があります。

- 誤った判断をしてしまう
- トラブルに遭っていることに気付かない
- 「人に迷惑を掛けたくない」という思いから、誰にも相談できない



消費者トラブルを減らすための見守りチェックポイント

- 見慣れない人たちが次々と訪問している
 - 不自然な工事を繰り返している
 - 宅配便や郵便物が次々と届いている
 - お金に困っているそぶりが見られる
- ※これらの傾向が見られるときは、注意が必要です

おかしいなと気付いたら…

「お困りのことはありませんか」と優しく声を掛け、高齢者の気持ちを尊重しながら、ゆっくり話を聞いてみてください。消費者トラブルに巻き込まれている場合は、市民・消費生活相談室への相談を勧めてみてください。

家族や地域の知り合いなど、身近な人たちが見守り、気付き、声を掛けることで、高齢者が安心して安全な消費生活を送れるようにしましょう。

消費生活相談専用電話

☎354-8264

対象者：市内に在住する人
受付日時：月～金曜日(祝休日・年末年始を除く)
9:00～12:00および13:00～16:00

※来所での相談も受け付けています。相談場所は、市民・消費生活相談室(市役所1階)です

市政への

満足度や期待などを伺いました

市では、行政上の課題や市民生活上の問題点などについて、市民の皆さんの声を市政に反映させていくため、毎年、市政アンケートを実施しています。多くの皆さんにご協力いただいた今年度のアンケートについて、その結果のあらましをお伝えします。

アンケートの概要
 対象 市内に居住する18歳以上の5,000人(無作為抽出)
 期間 平成28年7月27日～8月10日
 回答者数 1,728人(回答率34.6%)

今回のアンケートは、より広く皆さんの声をお聴きするため、対象年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げ、インターネット上でも回答できるようにしました。

市民の皆さんのご意見は?

満足

「都市と環境が調和するまち」「いきいきと働ける集いと交流のあるまち」など、総合計画の基本目標をはじめとする6分野に分類した40項目の施策について、それぞれの「満足度」と「期待」を伺いました。



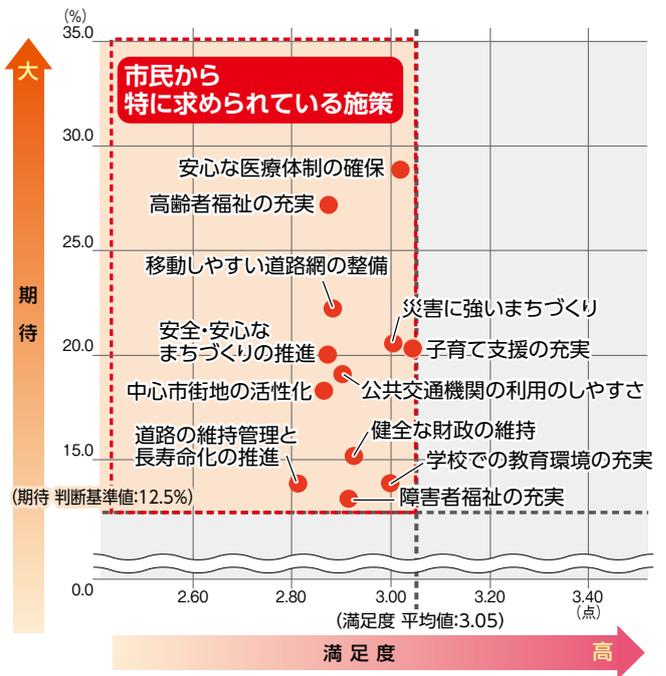
最も満足度が高い施策は「適正なごみ処理の推進」、また、最も期待が大きい施策は「安心な医療体制の確保」となりました。一方、最も満足度が低い施策は「道路の維持管理と長寿命化の推進」となりました。

- 高い満足度**
- 1位(前回2位) 適正なごみ処理の推進
 - 2位(前回1位) 上下水道の整備
 - 3位(前回3位) 消防・救急体制の充実

- 低い満足度**
- 40位(前回40位) 道路の維持管理と長寿命化の推進
 - 39位(前回39位) 雇用および就労の促進
 - 38位(前回36位) 中心市街地の活性化

- 大きい期待**
- 1位(前回1位) 安心な医療体制の確保
 - 2位(前回2位) 高齢者福祉の充実
 - 3位(前回5位) 移動しやすい道路網の整備

アンケートの結果



満足度が低く期待が大きい

市民から特に求められている施策

40項目中、上のグラフ中にある12項目が「特に求められている施策」と言えます。「安心な医療体制の確保」「災害に強いまちづくり」「子育て支援の充実」「障害者福祉の充実」の4項目が、今回新たに入りました。

期待



今後、この12項目について、重点的に取り組んでいく必要があります。

「自由意見」へも たくさんの意見が寄せられました

回答者の約4割に当たる702人から929件のご意見をいただきました。内容別件数では、「道路の渋滞を解消してほしい」「道路・側溝の整備や補修を行ってほしい」など、道路に関するご意見が116件で最多でした。次いで、公共交通の利便性やあすなろう鉄道に関する事など、まちづくり(都市計画)・開発についてのご意見が81件寄せられました。

アンケートへのご協力ありがとうございました

アンケート結果の詳細は、市ホームページ(<http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu67232.html>)または市政情報センター、各地区市民センターでご覧いただけます。

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者の皆さんにお伝えするコーナーです。

■CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

放送日時：1月11日～2月10日

月・水・金・日 9:30・20:30

火・木・土 12:30・20:30

■FMよっかいちで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。

放送日時：1月8日・22日 8:54・14:54

○イメージを育む力

「どっこいしょ」では、絵本などの目に見える物の力を借りずに、語り手の生の声で、たくさんのお話を子どもたちに伝えたいと、ストーリーテリングという手法を使っています。



例えば、お話の中に「犬」が登場したとします。絵本を見ながらの読み聞かせであれば、みんながイメージする犬は、絵本に出てくる犬そのものになります。しかし、聴覚だけでイメージすると、大きさも犬種も異なる、その子だけの犬が登場します。聴くことで、その子だけのイメージが生まれるのです。想像の世界を作っていく力を付けてほしい、自ら本を手にとってお話を楽しむようになってほしい、というのが私たちの願いです。

○子どもの喜ぶ顔が見たくて

語り手も、本を見ないので、直接子どもたちの顔が見えます。目を合わせて語りかけて、いい反応が返ってくるとうれいすね。

小さなお子さんの中には、お話の途中で寝てしまう子もいます。それでもいいのです。一緒に聞いてくれた親がそのお話をいいと思って、その子がもう少し大きくなった時に、お話ししてくれるといいなと思っています。



語りの会 どっこいしょ

市内を中心に平成元年からお話し会などの活動を続ける語りの会「どっこいしょ」。昨年春に、子どもの読書活動優秀実践団体に贈られる文部科学大臣表彰を受けられた皆さんに、お話を伺いました。

○文部科学大臣賞を受賞

受賞の知らせを聞いたときは驚きましたが、うれしく受けさせていただきました。これも、先輩方の地道な努力のおかげだと思います。

これからも活動を長く続けていきたいと、メンバー一同張り切っています。そのためにも、若い人が仲間になってくれるとうれいすね。随時、募集しています。お話を覚えて、子どもたちの前で語るの、頭の体操にもなりますよ。



葛西教育長(右)から表彰状の伝達を受けたメンバーの皆さん

○たくさんの人に聞いてほしい

聴覚だけでイメージすることは、今の子どもたちにとって必要な力だと思います。なかなか鍛える機会がないので、聴くことの積み重ねが大事です。

私たちは毎月、市立図書館やあさけプラザなどで、定例のお話し会を開催しています。ぜひ、来てくださいな。

* 2月のお話し会 *

2月 4日(土) 15:00~15:30

楠交流会館2階 研修室

18日(土) 14:00~14:30

あさけプラザ1階 第2集会室

25日(土) 14:30~15:00

市立図書館1階 児童室

毎月の予定は、広報よっかいち下旬号でお知らせしています

有料広告掲載欄

入ってよかった
建労
四日市支部

随時加入者募集中

働きながら学ぶ夜間講習

2級建築士 受験準備講座
受講生募集

2級建築士試験の受験者を対象にした準備講座です。ベテランの講師陣による懇切でいねいな指導で、学科と設計・製図の講習をおこない、建築に関する知識のない方にもわかりやすく解説します。女性の受講生も年々増え、建築分野への進出がめざましいものがあります。

三重県建設労働組合四日市支部
四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

随時受付中
3月22日/切

木造建築科 訓練生募集

随時受付中
3月22日/切

訓練校こそ
技能取得への近道。
仲間づくりの広場。

- 訓練期間 2年間(4月入校)
- 訓練日 毎週水曜日(昼間)
- 募集人員 20名程度
- 訓練内容 建築大工の養成訓練

三重県認定 四日市建設高等職業訓練校

職業訓練法人 四日市建設職業訓練協会

四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



オーロラの調べ ～神秘の光を探る～

オーロラは、一生に一度は見ておきたい天文現象の一つと言われています。その輝きは素晴らしく、時間を忘れて見入ってしまうほどの美しさです。

オーロラができるためには三つの要素が必要です。一つ目は太陽風、二つ目は地球の大気、三つ目は地磁気という地球の磁石の力です。太陽風が大気中の酸素や窒素などとぶつ

「博物館」「プラネタリウム」「四日市公害と環境未来館」の見どころなどを紹介します。
開館時間 9:30～17:00 (展覧会への入場は16:30まで)
1月の休館日 1月1日(祝)・10日(火)・16日(月)・23日(月)・30日(月)
※1月9日(祝)は開館します。なお、新年は2日から営業しています
2月の休館日 2月6日・13日・20日・27日(いずれも月曜日)



かって光るのがオーロラなのです。オーロラが活発に出現するのは、「オーロラ帯」と呼ばれる緯度が60度から70度のあたりで、中でもカナダやアラスカはオーロラを見るには最適な場所です。オーロラ現象は年間を通して起こっていますが、特に夜が長い10月から2月の今がまさにオーロラツアーには最適です。

そらんぽ四日市5階「GINGA PORT 401」では、3月12日(日)まで、プラネタリウム一般番組「オーロラの調べ～神秘の光を探る～」を放映しています。地球の自然とと

もにさまざまなオーロラをお楽しみいただける番組です。

この冬はぜひ、星の数で世界一に認定されたプラネタリウムが映し出す満天の星空と、オーロラの魅力が感じられるオーロラツアーに出掛けてみませんか。



©KAGAYA studio

問い合わせ先
博物館
(☎355-2700 FAX355-2704)



映画「サクラダリセット」

3月25日(土)に前篇、5月13日(土)に後篇が公開される映画「サクラダリセット」が四日市でも撮影されたよ。ロケ地はメリノール女子学院と四日市中央斎奉閣だよん。

特にメリノール女子学院は、伝統的で自然豊かな雰囲気が、主演の野村周平さんや黒島結菜さんが通う高校のシーンにぴったり。撮影は10日間もあったんだ。エキストラに参加したみんなも、周平さんや結菜さんに会えて、とっても楽しかったんだって。ボクもいつか映画に出てみたいな～。



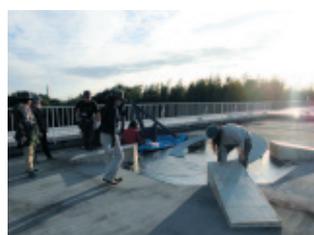
市のマスコットキャラクター「こにゅうどうくん」のコーナーだよ。四日市には映画やドラマの撮影隊をお手伝いする、よっかいちフィルムコミッションがあるんだ。今回は10月に応援した映画を紹介するよん。



©2017映画「サクラダリセット」製作委員会



“お葬式のシーンかな？”



“屋上に大きな日時計のセットを作っているよ”



“学園祭のシーンではエキストラ190人！”

問い合わせ先
観光・シティプロモーション課
(☎354-8286 FAX354-8307)

有料広告掲載欄

「こんなとき、どうすれば？」
まずは一度ご相談ください！

交通事故
保険会社の提示にそのままはんこ押ししていいのでしょうか？

借金
ずっと返済をしているのに全然借金が減りません

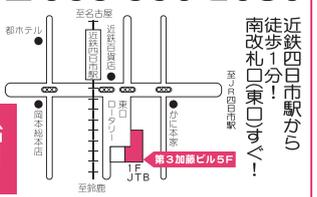
相続
遺産分割のことで親族間でもめており、気が重いです

離婚
本人同士では感情的になってしまい話し合いができません

その他
貸金、建物明渡し、法律顧問などなど

おいち
尾市法律事務所
弁護士 尾市淳二 (三重弁護士会所属)
(財)日弁連交通事故相談センター三重県支部相談員・鈴鹿市役所市民法律相談担当弁護士

交通事故被害者相談・借金問題のご相談は無料です
◆一般法律相談料(初回)30分 5,400円(税込)◆
《予約制》☎059-350-2080



本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

市制 120年の絆

第5回

～市制施行記念事業～

120年間歩んできた四日市市。

平成9年には市制100周年を迎え、それまでの歴史を振り返る市史全20巻を編さん・刊行しました。また、100周年に合わせてオープンした四日市ドームにおいて記念祭典を開催し、さらには市民公園に特大ステージを設置してライブを行うなど、市民の皆さんと盛大にお祝いました。

今年のゆるキャラ®グランプリで

四日市市は平成29年8月1日に市制120年を迎えます。本市の歴史を振り返り、市への誇りや愛着を持って未来への展望を一緒に考えてみませんか。

17位と大躍進を見せた本市のマスコットキャラクター「こにゅうどうくん」は、100周年を記念して誕生しました。“永遠の6歳”であるこにゅうどうくんも、今年20周年を迎えます。

111周年を迎えた平成20年には、すべての始まりである「1」が本市の名称のルーツでもある「市」を連想させるとして、まちづくりをさらに進める「はじめの一步」と位置付ける100を超える事業を実施しました。市民の皆さんにもたくさんの事業をご提案いただき、市民協働の第

一步を踏み出すことができました。

120周年を迎え、市民や企業の皆さんと一体となって、本市の魅力をさらに高める飛躍の1年となるよう取り組んでいきます。



100周年前夜祭でのライブの様子

問い合わせ先

政策推進課

(☎354-8112 FAX354-3974)



第2回

～資源物を持ち去る行為は 条例違反です～

本市では、資源物集積場所から市と市の委託事業者以外が資源物を持ち去ることを条例で禁止しています。違反した場合は、20万円以下の罰金が科せられることがあります。

収集日の朝、市の収集車以外の車両が、集積場の紙類や金属類を短時間で大胆、強引にトラックに積み込み、猛スピードで走り去る行為が見受けられると不安視する声も多く寄せられます。

資源物の持ち去りは、全国的に問題となっており、他の自治体とも情報を共有して、車のナンバーから所有者の特定を進めています。市民の皆さんが集積場で資源物の持ち去りを目撃された場合、相手が危険な行動に出ることがあります。身の安全を最優先に、むやみに制止せず、特徴などの情報を市にお寄せください。

現在、警察OBを含めた市職員が、毎日市内の集積場をパトロールしています。警察の協力を得て、これまでに4件の告発を行い、全て罰金が科されました。

市のごみ収集は可能な限り速やか

に行うよう心掛けていますが、収集時間は一定ではありません。持ち去りを防ぐためにも、今後も、ごみは「決められたものを、決められた時間に、決められた場所へ」出していただくようお願いします。



市の「資源物収集運搬受託業者」と表示された収集車両

問い合わせ先

生活環境課

(☎354-8192 FAX354-4412)

有料広告掲載欄

～地域とともに160有余年 事前のご相談から至急のご依頼まで 葬儀のことなら24時間365日～



株式会社 ふじや本店
光倫会館
0120-114248
FreeDial

■本社／四日市光倫会館
〒510-0836 四日市市松本町北大谷 2015
[TEL] 059-351-1151 [FAX] 059-351-4224
■光倫会館 桜ホール
〒512-1211 四日市市桜町 6613
[TEL] 059-325-2482 [FAX] 059-325-2482
■富田光倫会館
〒510-8014 四日市市富田2丁目 3-7
[TEL] 059-361-2481 [FAX] 059-361-2482

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

市内各地で開催されたイベントなどを写真と文章で紹介するコーナーです。



すいざわ軽トラ市 (12月4日 茶業振興センター)

「水沢元気なまちづくりの会」の皆さんが初めて企画した、軽トラックなどの荷台を利用したフリーマーケットです。地元の新鮮な野菜や手作りの品など、18台の車が並びました。子どもから大人まで多くのお客さんが詰め掛け、生産者との会話を楽しむなど、会場は終始にぎやかな声であふれていました。

「生活習慣病予防」の料理教室 (12月12日 保々地区)

地域で活動する食のボランティア「食生活改善推進員(ヘルスメイト)」の皆さんの指導の下、高血圧や糖尿病などに配慮したメニュー4品を作りました。参加者の皆さんは作り方を確認し合いながら、和やかな雰囲気調理し、調理後の試食では、「おいしい」「家庭でも作ってみよう」など、口々に感想を述べていました。

農業委員会

四日市市農業委員・農地利用最適化推進委員の募集

問 農水振興課 (☎354-8180 FAX354-8307)
問 農業委員会事務局 (☎354-8271 FAX354-8307)

農業の担い手への農地の集積や遊休農地の発生防止・解消などを促進するため、「農業委員会等に関する法律」の一部が改正されました。農業委員は、これまでの選挙制から推薦・応募による市長の任命制になり、農地利用最適化推進委員が新設されました。これに伴い、農業委員および農地利用最適化推進委員を募集します。

■対象

農業に関する識見があって、農地の利用などに熱意を持ち、原則として、市内に住所を有している人

■任期

農業委員は、平成29年7月20日から3年間。農地利用最適化推進委員は、委嘱した日から農業委員の任期満了の日まで

■定数

農業委員は19人(うち1人は農業委員会の業務に利害関係のない人)。農地利用最適化推進委員は37人(担当する地区ごとに1人)

■報酬

条例に基づき支給します

■申し込み

農水振興課や農業委員会事務局、各地区市民センターにある募集要項をご覧の上、所定の応募用紙を、1月27日(必着)までに、同事務局へ提出してください

■その他

募集要項などは、市ホームページからも入手できます。詳しくは、同事務局までお問い合わせください

広報紙で動画を見よう

下のQRコードを読み取って、オリジナルアプリ「まるごと四日市」のサイトにアクセスしてね!



四日市市のゆるキャラ® 「まるごと四日市」のサイトに「こにゅうどうくん」

●「まるごと四日市」のサイトの広報紙のメニューを起動して、この「こにゅうどうくん」のイラストや表紙の「広報よっかいち」のロゴにスマートフォンなどをかざせば動画が見られます
※利用には無料アプリ「ぴこんず」のインストールが必要

有料広告掲載欄

みなと総合法律事務所

弁護士 杉岡 治 弁護士 森川 仁
弁護士 森田明美 弁護士 山本伊仁
弁護士 村林敏也 弁護士 青木 透

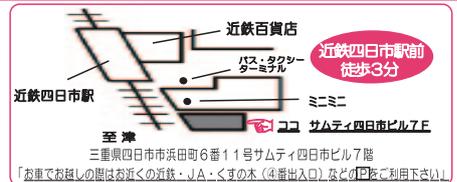
(三重弁護士会)

☎(059)354-3355(代)

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝除く)

【取扱業務】

商取引・不動産問題
交通事故などの損害賠償
相続・遺言・遺産
離婚
破産・民事再生・債務整理
労働問題
刑事弁護
会社顧問・その他全般



まずはお気軽に、ご相談下さい
相談料 60分 10,000円 30分 5,000円(各税抜)

http://www.pcs.ne.jp/~hisho

みなと総合法律事務所 四日市 検索

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



祝

「鳥出神社の鯨船行事」 ユネスコ無形文化遺産登録決定！

国指定重要無形民俗文化財「鳥出神社の鯨船行事」

富田地区に伝わる国指定重要無形民俗文化財「鳥出神社の鯨船行事」(富田の鯨船)が、全国33件の「山・鉦・屋台行事」の一つとして、ユネスコ無形文化遺産に登録されることが正式に決定しました。日本時間の昨年12月1日に、エチオピアのアディスアベバで開催されたユネスコ政府間委員会で審議され、世界の人類の代表的な無形文化遺産として認められました。

鯨船は、他にも南納屋町、磯津、楠町、本町と鈴鹿市北長太町にあります。富田地区では、北島組の神社丸、中島組の神徳丸、南島組の感應丸、古川町の権現丸という4基の鯨船山車を保有しています。複数の山車が古来の伝統をよく残していることから、平成9年に国の文化財指定を受けました。

鯨船行事は、古式捕鯨の様子を陸上で演じるもので、鯨を大漁や豊穡の象徴として見立てた祭りです。華麗な横幕や水押サガリ、彫刻などで飾られた鯨船山車を大きく横に傾けたり回転させたりと激しく動かし、逃げたり反撃してきたりする張りぼての鯨との勇壮なやりとりが最大の見どころです。暑い日差しの中、鉦を打つ「ハタシ」を演じる子どもの演技にも注目です。

富田の鯨船は毎年8月14日・15日に行われていますので、ぜひ一度ご覧ください。きっと、鯨船行事の熱い魅力に引き込まれることでしょう。



鯨船の船首にある「水押サガリ」

「久留倍官衙遺跡」と「斎宮跡」に関する事業連携の協定を締結！

本市大矢知町に所在する「国指定史跡久留倍官衙遺跡」と多気郡明和町に所在する「国指定史跡斎宮跡」(日本遺産)には、古代の天武天皇や聖武天皇の関連など互いに歴史的な深い関係性が見い出せます。そこで、連携して事業を行い、相乗効果を発揮しつつ、より広く情報発信を行うこ



朝明中学校1年生による「久留倍遺跡まつり」歴史劇の様子

とを目的に、四日市市と明和町が、三重県を立会人として昨年11月25日に協定を締結しました。

今後、相互のイベントなどで、それぞれの史跡を紹介する場を設けるなど、両方の史跡が持っている古代ロマンの魅力を広くPRしていきます。



調印した協定書を持つ田中市長(当時)(左)と中井明和町長(中央)、鈴木知事(右)

問い合わせ先

社会教育課

☎354-8240 FAX354-8308

有料広告掲載欄

期限付永代供養墓

- 後継ぎのいない方でも安心
- 神宮寺が永代に限り供養いたします
- 33回忌以降は合記墓に改葬し、供養いたします

66.5万円より

選べる新型セット墓地

待望の新型が納得の価格で誕生！
ご満足いただけるセット墓地。

0.81㎡
(0.9m×0.9m) **74万円**起

須藤石材株式会社 ☎0120-33-0633

三滝川メモリアルパーク

三滝川メモリアルパーク(概要)

名称/三滝川メモリアルパーク
所在地/四日市市平尾町字川原929-1
交通/四日市インターより車で約5分
近鉄板駅より徒歩約10分

永代使用料/1区当り25万円より
年間管理料/3,000円より
事業主/宗教法人 神宮寺
墓地経営許可/三重県指市四保路第17-1号

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 312,295人 [11月末日現在(前年比-271)] ■火災件数 6件 [11月分(前年比-5)] ■交通事故件数 866件 [11月分]

UD FONT
豊やすいユニバーサル
フォントを
採用しています。

「広報よっかいち」は再生紙と植物油インキを使用しています。不要になったらリサイクルへ